

	<p>会 津 大 学</p> <h1>後援会だより</h1>	<p>第48号 発行：会津大学後援会(事務局 事務局学生課) 発行日：2022年8月1日 住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀 電話：0242-37-2515 URL：https://u-aizu.ac.jp/</p>
---	--------------------------------	--



学長あいさつ

私の英語学習奮闘記

会津大学長 宮崎 敏明

今回は、私自身の英語学習にまつわる苦い経験を書きます。理系大学の学生であった私は、英語は一般教養科目としか考えず、「卒業に必要な単位が取ればそれでよし」として真面に勉強しなかった。英語を使う相手も環境も当時の私の周囲にはなかったので別に不自由も感じなかった。しかし、社会に出て事態は一変した。私は企業の研究所に就職した。そこでは研究成果を、英語で国際会議や論文誌に発表することが常であった。就職してまもなく強制的に受験させられたTOEICの成績は、惨憺たるもので、上司から「TOEIC 600点を超えない者は、国際会議に参加させない。参加しても、他の参加者の言っていることが理解できず、まともに議論できるとは思えない。」と言われた。「研究してもその成果が発表できなければ、出世どころかクビになる。」と思い、同じくTOEICの成績がふるわなかった同僚2名と、就業後、せっせと英会話スクールに通うことにした。そんな訳で、それから数年間、私の月給の半分は、英会話スクールの費用に消えた。その時、初めて「大学時代、英語をもっと真剣に学んでおけば良かった」と後悔した。その後、自腹を切った苦難の英語学習の成果もあり、どうにか国際会議に行けるようになった。自分の発表自体は、ネイティブスピーカーが録音してくれたテープを聴きながら、声を出して

30回以上練習し、頭にたたき込んで臨んだので、何とかなった。しかし、質問に答えられない!というか、質問の意味が理解できず、頭が真っ白になり、座長がその場を取り成してくれた。悔しさと羞恥心で、自分で顔がみるみる真っ赤になるのが分かった。それ以来、実践英会話を心がけるようになった。印象に残っているのは、自分がなめるように読み込んでいた論文の著者が、シドニーで開催された国際会議の招待講演の準備のために会場ステージに立ったとき、私もその会場で発表を控えていて下見に来ており、その場で2人きりになった。私が勇気を出して15m程離れた場所から「Good Morning, Sir!」と言ったら、その尊敬する米国の大学教授は、顔を私に向け「Good Morning!」と答えてくれた。たった、それだけだけれど、尊敬する先生と英語で挨拶ができたことと感激したことを今でも鮮明に覚えている。今から、30年前の出来事である。

会津大学では、英語教育を重視している。それは、最新の情報通信技術(ICT)は英語で発信され、自分の成果を世界に発信するには英語でなければならないからである。本学の学生にとって、英語は一般教養科目ではなく、コンピュータと同様、ICTを学ぶための道具なのである。学生諸君!逃げることなく、在学中に道具としての英語をしっかり身に付ける努力をしてください。これほど英語を学ぶ環境に恵まれた場所は、他にないのだから。苦い実体験をした一人の先輩として、この場を借りて、強く進言します。



会長あいさつ

会津大学後援会長 渡邊 寛史

はじめに、会津大学後援会会員の皆様におかれましては、日頃より本会の運営にご支援を賜わり厚くお礼を申し上げます。新たにご入学されました新入生ならびに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

さて、周りを見渡すと21世紀の今現在に行われているロシアによるウクライナ侵攻、連日のメディアによる報道に触れる度に心が痛みます。戦争を知らない私や学生世代にとっては今までの価値観を大きく変えてしまいかねない程の衝撃的な出来事かと思えます。世界経済への影響も少なく無く円安・物価高等、日々の学生生活、さらにはご家庭の生活へも影響を与えております。

また、新型コロナウイルスの動向もあります。人と人のコミュニケーションを抑止しながらの感染対策生活、オンラインでの部分であるビジネスや授業についてはオンラインでの対応がスタンダードとなってきてはおりますが、オフの部

分である部活動・サークル活動についてオンラインではコミュニケーション不足感はないかと思ひます。今後、感染対策も次のステージに移り、オフ部分で学生同士の対面でのコミュニケーションの時間も増えてきたら良いと思ひております。

世界・経済が急激に動いていると思ひます。今の学生にとっては自分自身の意思をしっかりと持っていないとあつという間に吹き飛ばされてしまう時代です。本大学では国際的な先生方により日本基準はもちろん、世界基準の

スキルの中で、学生達は自分自身の意思を明確に認識できる環境にあると思ひます。今日現在までのデフォルトスタンダードに捉われずに明日その先にある新たなスタンダードを創造できるような柔軟性の高い考え方を持っていて欲しいと思ひております。

最後になりますが、このような状況の中後援会といたしましても大学と連携をとりながら、学生達が笑顔で学生生活ができるように支援を充実させてまいります。皆様のご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

学位記授与式 (2021年度)

2022年3月22日(火)、学位記授与式が執り行われました。コンピュータ理工学部卒業生211名、大学院博士前期課程修了生45名、大学院博士後期課程修了生8名、計264名を代表して、学部卒業生の藤田一旗さんが答辞を述べました。

また、在学中に優秀な成績や研究の成果を修めた学生の表彰が行われました。



新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から規模を縮小して開催し、保護者の皆さまにはご同席いただくことができませんでした。このような中でしたが、学生の皆さんは晴れやかな巣立ちの日を迎えました。

学長賞	伊藤 亮哉 (学部)
	桑名 絢士 (博士前期課程)
優秀賞	藤田 一旗 (学部)
	村上 弥夢 (学部)
	チエン ホンボ (博士前期課程)
公益財団法人会津地域教育・学術振興財団表彰	柏本 仁香 (学部)
	佐藤 令音 (博士前期課程)
電子情報通信学会東北支部表彰	大和田 雄太 (学部)
情報処理学会東北支部学生奨励賞	高橋 輝 (学部)
電気学会東北支部優秀学生賞	廣岡 光輝 (学部)

入学式について (2022年度)

2022年4月4日(月)、入学式が執り行われました。学部257名、博士前期課程91名、博士後期課程4名、計352名の新入生を代表して、浅川寧々さんと村上弥夢さんが宣誓を行いました。



新型コロナウイルス感染症対策として参加者を入学生のみ
に制限し、式典は、2グループに分けて2回実施しました。

集合写真は2グループ合同で
全員一緒に撮影しました。

在学生表彰（成績優秀者）

2021年度の各学年の成績優秀者を表彰しました。会津大学では、GPA(*)による成績評価を導入し、学部の各学年の上位3名を表彰しています。（*Grade Point Average：大学における成績評価方法の国際標準であり、就職や大学院進学、海外留学の際に活用されています。）

学年（2021年度）	成績優秀者		
学部1年	栗林 世瑠	数又 悠真	伊藤 尚聖
学部2年	伊集 光世	加藤 由芽	石井 大智
学部3年	滝口 裕斗	酒井 乃輝	村上 幸新



←2022年3月30日(水)：宮崎学長より、表彰状と副賞(図書カード)を贈呈。後列左端は金子学生部長。同右端は大津山学生副部長。



←2022年4月6日(水)：金子学生部長(中央)より、表彰状と副賞を贈呈。

学生の活動紹介

『ランチタイムPV大作戦』の運営

学部4年の米倉佳祐と申します。今回、私は池本淳一上級准教授の指導の下、「ランチタイムPV大作戦」というイベントを企画しました。ランチタイムPV大作戦とは、学食に設置したディスプレイで、各サークルから募ったサークルPRの動画をテレビのコマーシャルのように流すというものです。

イベントを企画した当時、私は混声合唱部の部長を務めており、新入部員を確保することに苦心していました。感染症対策のため、新入生歓迎会や対面でのサークル勧誘が禁止されている中、既存のイベントでサークルの認知度を上げることは困難でした。そのような状況の中、私の目に留まったのが学食のロビーにある空きスペースでした。

私は早速、指導教員の池本先生に相談し、使用する機材や場所の確保を行いました。またサークル自治会に協力を仰ぎ、各サークルにサークル紹介PVの募集を掛けました。結果的に当初予定していた場所を使えなかったり、スケジュールの予定で規模を縮小したりと様々なトラブルはあったものの、多くのサークルに協力していただき、何とか成功を収めることができました。

振り返ってみると、この企画を完遂することは非常に大変だったと思います。新入生向けの企画だったにも関わらず、企画を思いついたのは入学式直前でした。そのため、非常にタイトなスケジュールになってしまったと反省しています。また、投稿された動画に著作権などの問題が無いかチェックしたり、毎日の設営などをほとんど一人でしていました。中々大変でしたが、時々通りがかった学生が立ち止まってPVを見ていたため、「サークルの認知度を上げる」という当初の目的は達成できたのだと思います。

最後になりますが、学業に打ち込むにも、余暇を有意義に過ごすにも、友人は重要な存在です。様々な人の価値観に触れて視野を広げるためにも、サークルに入ってみるのはどうでしょうか。混声合唱部、おすすめです。



グローバル化・国際交流の展開について ～会津大学グローバル推進本部 国際戦略室～

コロナ禍による全世界的な渡航制限により、海外派遣や受入留学生は大きな影響を受けたものの、従来の対面と、オンラインによるハイブリット型で国際交流を行うことにより、海外をより身近に感じ、英語力向上や異文化理解のきっかけづくりとなっています。2022年度は感染予防対策を十分に講じた上で海外派遣を再開すべく、事前準備、及び、リスク・危機管理等について、協定大学・連携機関と調整をしています。

◆ 海外の協定大学との連携 ◆

多くの海外の大学・研究機関等と協力関係を結び、学術研究交流を重ねることで、世界中に交流基盤を構築しています。コロナ禍でオンラインでの活動が主ですが、継続的な信頼関係の構築により、交換留学や国際会議、共同研究等がさらに活発に行われ、本学のプレゼンスが国内外に高まるよう取り組んでいます。

◆ 海外留学プログラムの再開と、留学生の受入れ ◆

1. 海外中期派遣：4名決定(米国3名、ドイツ1名、留学期間：2022年8月から3か月～1年間)

- ・派遣先：ローズハルマン工科大学(アメリカ)、単位取得を目的とし、学生寮にて共同生活をします。
学部3年：浅井海斗さん、石井大智さん、学部2年：高橋琳太郎さん
- ・派遣先：カールスルーエ応用科学大学(ドイツ)、単位取得、研究等を目的とします。
学部3年：五十嵐涼さん

2. 留学準備のための英語体験プログラム(10名程度：2022年9月、4泊5日)

福島県内にあるブリティッシュヒルズにおいて、授業やアクティビティをすべて英語で受け、共同生活をします。できる限り海外に近い環境において研修を行うことにより、今後の短期・中期留学の動機づけとなるプログラムです。

3. グローバル・ゲートウェイ・プログラム【短期派遣】(各10名程度：2023年3月、3週間)

同世代の学生が、どのように学習し夢に向かって取り組んでいるかを体験する短期プログラムを、ローズハルマン工科大学(アメリカ)とワイカト大学(ニュージーランド)で実施する予定です。最先端のICT技術や己を知るきっかけづくりとなるよう、授業の一環として実施します。

4. 海外からの留学生を支援(水際対策、野菜等の寄贈)

政府による水際対策のため入国が閉ざされていましたが、6月時点で殆どの学生が入国することができました。本学では、水際対策における在留管理、滞在に必要な様々な手続きを行い、留学生が安全かつ安心して生活できる支援を行っています。また留学生支援として、地元の農家さんより新鮮な野菜等を幾度も寄付して頂き、留学生の生活に大変役立っています。



◆ 国際交流活動 ◆

1. グローバルラウンジの活動(International Talk, EEE-Chat, JJJ-Chat)

国際交流施設のグローバルラウンジでは、様々な活動を通して留学生・日本人学生が交流し、交友を深めています。毎月開催している“International Talk”は、留学生が自国の歴史や文化を紹介します。EEE-Chat(Elective English Evening-Chat)は、日常のトピックについて簡単な英語で会話を楽しむ活動で、毎週月曜に開催しています。一方JJJ-Chat(Joyful Japanese Journey-Chat)は、やさしい日本語で会話を楽しむ活動です。EEE-ChatとJJJ-Chatには、多くの日本人学生、留学生が参加しています。参加している学生からは、「英語で話すのが楽しくなった」「留学生の友達が増え、視野が広がった」等の声が多くあります。

2. 地域交流「東日本大震災・原子力災害伝承館」や「福島ロボットテストフィールド」等の視察

2021年8月に原子力災害伝承館を視察し、今年11月にも実施する予定です。昨年参加した学生からは、「複合災害の記録や復興に向けた取組、会津大学の強みであるICT技術を通して福島の復興・貢献について考える良い機会となった」という感想が聞かれました。学生にとっても、地域を知り、考える良い機会になります。他にも、地域で実施される地域交流イベントに学生が参加することで、多くの地域住民と交流し、「ふくしま」を知ってもらいたいと考えます。



最後に、コロナ禍で制限はあるものの、これからも可能な限り学生が参加できる国際交流活動を支援し、ポストコロナを見据えて、学生の国際交流・海外留学へのきっかけづくりに努めてまいります。

※グローバル推進本部 国際戦略室については、下記のURL 及び QR コードからご覧いただけます。

<p>■国際戦略室 ウェブサイト https://u-aizu.ac.jp/osip/</p>	
<p>■プログラムに参加した学生のレポート https://u-aizu.ac.jp/osip/dispatch/report/2021-18.html</p>	
<p>■グローバルラウンジの活動について https://u-aizu.ac.jp/osip/abroad/gl.html</p>	

学生会の紹介

こんにちは、学生会執行部です。

私たちは学生会員がより良い生活を送ることができるよう、日々活動しています。

◎ 学生会総会の運営

学生会総会とは学生会の意思決定に対する最高機関であり、学生の学生生活における決め事を審議、決定する場です。主に予算や決算、会則などについて審議します。また、学生課会員の意見を取り入れる場としても開催されます。私たち執行部は学生会総会の開催、告知、運営を行っており、それぞれ4月に昨年度の決算総会、5月に今年度の予算総会が行われます。

◎ コロナ禍の総会運営

一昨年度に引き続き昨年度も、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から各サークルによるサークル活動もオンラインによる活動や厳しい制限下での一部対面による活動としてきました。そのため前述の学生会総会に関しても、zoomなどのオンラインでの開催をするなど、いくつかの対応をすることとなりました。



学園祭実行委員会の紹介

こんにちは!学園祭実行委員会です。

会津大学学園祭、通称「蒼翔祭」の総合的な運営、管理を行っています。

一昨年、そして昨年はオンラインでの開催となりましたが、今年度は対面での開催にしたいと考えています!

◎ 今年度蒼翔祭開催日時の変更

今年度の学園祭は10月29日(土)、10月30日(日)に開催する予定です。例年は10月の第二土日ですが、昨年度までの三年間、その日の気象が非常に悪く、三年前は対面での準備を進めていたのにその気象によって中止に追いやられてしまいました。今年もその可能性を考慮し、学園祭の予定を月末に変更しました。日程が変更されたのみで、内容に影響はございませんので変わらずお楽しみいただければと思います!



◎ 最後に

対面での学園祭の全面的な開催は実に三年ぶりとなるので、不安も多く、新型コロナウイルスに対しても気を抜けない日々が続きますが、素晴らしい学園祭を開催できるように委員一同頑張りますので応援をよろしくお願いたします! それでは、蒼翔祭でお会いしましょう!

修学支援室より

修学支援室は、講義や演習だけでは内容を十分に理解できなかった際に、先輩に相談・質問できる場です。支援室には、本学卒業生が務める修学支援員及び、大学院生・学部生によるアシスタント(TA・SA)が待機し、数学系科目からコンピュータ系科目まで幅広く対応しています。

1年生はもちろん、多くの2、3年生の皆さんも利用しています。パーティションで区切られた自習室も備えていて、それぞれの学生にあった形で利用できるようになっていきます。



◆ オンライン化への取り組み

新型コロナ対策のため学内への立ち入りが一時期制限されましたが、そのような状況であっても学業のサポートを行うために様々な検討を行いました。

実際におこなった取り組みとして、まずメールでの質問対応を開始しました。加えて授業で難しく感じた箇所についてアンケートを実施し、重要度の高いものについてはweb上で解説記事の公開を開始しました。

今では対面での授業の再開に伴い、修学支援室へ来室する学生が多くなりましたが、利用者の利便性向上およびTA・SAの新しい働き方の模索のためこれらの取り組みについては今後も継続する予定です。

学生スタッフ紹介

博士後期課程1年 齊藤由将さん



修学支援室TA歴5年目です。これまでの勉強で培った知識などをもとに、様々な科目についていろいろな学生さんの質問対応などを行っています。

対応を通して今でも新しい発見があり、勉強になっています。

◆ 履修相談会

科目の履修、進級等に関わる規程がここ数年で大きく変更され、自分の単位取得状況等に不安を感じている学生も少なくありません。そのような相談に対し、情報の提供及び今後の履修計画の提案などもおこなっています。

◆ 試験期間中の対応・臨時開室

期末試験直前の勉強の追い込みをしたい学生向けに日曜日に臨時開室し、試験勉強のサポートを行いました。メールでの質問対応も行い様々な学生さんに対応しました。

修学支援室 (研究棟2階 246E)

● 電話: 0242-37-2758 ● Email: ofls@u-aizu.ac.jp

<https://u-aizu.ac.jp/campus/support/learningsupport/>

保健室・学生相談室より

■ 保健室

阿部 さえ子 看護師

研究棟1階 (148)
0242-37-2517
nurse@u-aizu.ac.jp



病の予防法や治療法には様々な情報がありますが、私が病の予防や治療(回復)をイメージする際に、いつも心に浮かぶのは、「私たちの内にある自然治癒力こそ、真に病を治すものである」というヒポクラテスの言葉です。

■ 学生相談室

吉澤 小百合 カウンセラー

研究棟2階 (252)
0242-37-2610
counseling@u-aizu.ac.jp



つらい時ほど、一人で何とかしようとして、孤立してしまいがちです。「こんなこと人に言えない」「どうしたいか自分でもわからない」そんな時こそメールしてください。話しながら一緒に考えましょう。

就職支援室より

現在コロナ禍において社会全体で急激なDX化が進んでおり、多くの業界でデジタル化に必要な人材を求めています。

会津大学はまさにIT人材の育成を目指している大学であり、学生自身の高い専門性と積極的な活動の成果が各業界から評価を受け、高い就職率につながっています。

就職支援室では、一人ひとりに進路個別面談を行い、進路を考える上でのサポートや直接話すことで関係性を築くことなどに注力しています。

就職活動では、答えを教えるのではなく、「考えるプロセス」を通じて、自分の価値を見出せるよう支援を行っています。



就職相談員の木戸さん&瀬戸山さん

◆ 対応できること（オンライン相談可）

- ◆ 進路・就職相談・インターンシップ など
- ◆ エントリーシート・履歴書添削・アドバイス
- ◆ 面接対策、面接練習
- ◆ その他 ひとりで抱え込まず、お気軽にご相談ください

就職支援室（学生ホール2階）

● 電話：0242-37-2790

● Email: career@u-aizu.ac.jp



2021年度 就職・進路状況について

後援会では、各種資格試験（情報処理技術者試験、TOEIC）の奨励金を支給するとともに、就職活動交通費・宿泊費について補助を行い、学生の就職活動を支援しています。

2021年度進路決定状況（2022年5月末現在）

◆ 就職状況

	進路希望	決定者数
民間企業	119	118
県内	30	30
県外	89	88
教員	1	1
公務員・団体等	6	6
起業・家業	0	0
合計	126	125
就職率	99.2%	

◆ 進学状況

	進路希望	決定者数
本学大学院	77	77
他の大学院	6	6
海外の大学院	1	1
合計	84	84

主な就職先（一部抜粋）

*は福島県内企業または拠点あり

【メーカー】

アルプスアルパイン*
信越半導体*
東北村田製作所*
凸版印刷*
豊田自動織機
日清紡マイクロデバイス
日本デジタル研究所*
日立製作所
本田技研工業

【情報・通信業】

伊藤忠テクノソリューションズ
エキサイト
SCSK
NTTドコモ
NTT 東日本グループ*
エフコム*
面白法人カヤック
デザインウム*
ソフトバンク
メルカリ

【ゲーム】

コナミホールディングス
任天堂

【サービス】

サイバーエージェント
東海旅客鉄道
西日本高速道路
日本工営*
楽天

【コンサル】

アクセンチュア*
野村総合研究所

2022年度 後援会活動について

後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しています。

2021年度決算及び2022年度事業計画・予算につきましては、2022年度後援会総会（※書面協議）において下記のとおり承認されました。（※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により本年度の総会については書面協議により実施いたしましたのでご了承ください。）

2021年度決算

1 収入科目	決算額(単位:円)
会費	16,267,480
雑収入	170
TOEIC テスト受験促進事業	663,560
繰越金	12,642,547
計(a)	29,573,757

2 支出科目	決算額(単位:円)
会議費	0
事業費	14,661,126
学生課外活動助成費	6,000,000
厚生及び進路対策費	4,585,246
研修等助成事業費	0
スキルアップ奨励事業費	1,665,830
TOEIC テスト受験促進事業	2,388,350
PCR 検査緊急補助事業	21,700
記念事業積立金	500,000
予備費	0
計(b)	15,161,126
当期収支差額 (a) - (b)	14,412,631
次期繰り越し	14,412,631

2022年度事業計画

時期	事業概要	
2022年	4月～翌3月 クラス活動助成事業	
	4月～翌3月 新入生クラスミーティング運営補助	
	4月～翌3月 TOEIC テスト支援・受験促進事業	
	4月～翌3月 就職活動交通費・宿泊費補助事業	
	4月～翌3月 ボランティア活動費補助事業	
	4月～翌3月 研修等助成事業	
	4月～翌3月 スキルアップ奨励金事業	
	4月～7月 10月～翌1月	朝食定期券補助
	7月	学生会・学園祭実行委員会への助成
	8月	後援会だより(第48号)発行
2023年	10月29日	報告会・保護者相談会・懇親会・役員会
	3月	後援会だより(第49号)発行
	3月20日	役員会
	3月20日	卒業記念パーティ

2022年度予算

I 2022年度会津大学後援会予算

1 収入科目	予算額(単位:千円)
会費	16,255
雑収入	1
TOEIC テスト受験促進事業	656
繰越金	14,348
計	31,260

2 支出科目	予算額(単位:千円)
会議費	100
事業費	17,936
学生課外活動助成費	6,000
厚生及び進路対策費	6,520
研修等助成事業費	550
スキルアップ奨励事業費	1,666
TOEIC テスト受験促進事業	3,200
記念事業積立金	500
予備費	12,724
計	31,260

II 2022年度記念事業積立金予算

1 収入科目	予算額(単位:千円)
積立金	500
雑収入	1
繰越金	4,471
計	4,972

2 支出科目	予算額(単位:千円)
該当科目なし	0
計	0

2022年度後援会役員

役職	役員	
名誉会長	宮崎 敏明	
会長	渡邊 寛史	
副会長	川島 真由美	小林 呂嘉
監事	五十嵐 哲朗	生亀 和行
委員	五十嵐 敏之	湯田 由美
	鈴木 邦夫	松川 和芳
	小林 亜樹	津田 敦子
常任委員	阿部 俊彦	